

## 学生チームが優秀賞受賞

## 北海商科大学

現代社会の急速なグローバル化に対応した教育研究を実践するため、「アジアの時代にアジアを学ぶ」とを教育目標に掲げる北海道商科大学（札幌市）は2月28日、九州情報大学大宰府キャンパス（福岡県太宰府市）において開催された「ゲーム学会第23回ゲームコンペ」に参加し、北海商科大の学生チームが「優秀賞」を受賞した。

ゲーム学会（事務局大阪・四條畷市）は、ゲーム作品のコンペティションを毎年開催している。このコンペティションでは、作品としての単なるクオリティ

の高さやおもしろさだけ

を評価するのではなく、

作品のコンセプトや表現

としての斬新さ、新しい

技術や学術的な研究成果

の利用といった芸術・学

術的な視点を評価する。

また、教育、健康、福祉

といった多様な分野への

ゲームの利用など、社会

的な視点で審査されるの

も特徴の一つだ。

募集期間は、令和7年

11月1日から令和8年1

月末まで。最優秀賞1作

品と優秀賞2作品が選出

された。応募条件は①オ

リジナル作品であって、

審査のために関連資料を

審査委員会に提出できるもの

②応募者が著作物利用に

ついても正当な権限を有し

ている作品であること③公

序良俗に反しない作品であ

ることとされた。

同大からは2チームがエ

ントリーし、そのうち1チ

ームが優秀賞を受賞した。

チーム名は「観光ギルド」

で、メンバーは、商学部観

光産業学科3年次・長崎裕

さん（北海道登別明日中等

教育学校出身）、川田京典

さん（北海道登別明日中等

教育学校出身）、伊藤終人

さん（市立札幌新川高等学

校出身）の3人。発表も3

人で行った。

受賞した作品タイトルは

「SOUVEIR（スーヴェ

トル）」で、欧州の言葉「お

土産」と「旅行」を組み合

わせた造語。北海道を舞台

に各地の「お土産」を集め

て回る、戦略的バトルシミ

ュレーションRPGだ。

物語は「夏なのに雪が降

ってしまった」という異変

が起きた北海道を舞台に、

主人公のミエルが夏を取り

戻すため、各地のお土産を

手に雪女のもとを目指し、

お菓子に化した敵キャラク

ターを倒して進めていくと

いうもの。北海道の魅力を

再発見できる地域性に富ん

だ作品に仕上がった。

長崎さんは「メンバー全

員がゲーム制作初心者だっ

たものの、アイデアを出し

合い試行錯誤を重ねながら

完成させることができた。

この貴重な経験を糧に

今後もさらなる精進を続け

ていきたいと考えていま

す」と、抱負を述べた。

同大は、現代社会の急速

なグローバル化に対応した

教育研究を実践し、IT・

AIを利活用して成長して

いく学生を支援する。

『大學新聞』第250号（令和8年4月10日発行）掲載